

令和3年度 緑化活動啓発作品コンクール 審査講評

〈総 評〉

- ・応募総数は昨年度とほぼ同数だったが、応募いただいた学校数は1.5倍に増加し、取組が広がっていることがうかがえる。
- ・どの作品も熱心に取り組んだことがよく分かる魅力的な作品であり、どれも素晴らしいもので、選考に苦慮した。
- ・選考にあたっては、単に綺麗だったり技術的に優れているだけでなく、「森林づくり」や「緑化運動」としての思いが表現されており、かつ、ポスターやチラシという啓発媒体にふさわしい作品を選定した。

〈ポスター原画〉

■小学校の部：最優秀賞「北海道知事賞」

画 題	「みんなで守る！地球と森林」
作 者	共和町立西陵小学校6年 佐藤 暖笑（さとう のえ）
制作意図	これから森林が減っていかないよう、私たちみんなで地球といっしょに森林を増やし、それを守っていこうという思いをこめてかきました。
講 評	多様性、国際性にあふれ、地球規模で森林を守るということを明快に表現しており、見ていると楽しくなる、ポスター原画としてふさわしい作品。

■中学校の部：最優秀賞「北海道教育長賞」

画 題	「森の行進」
作 者	石狩市立浜益中学校3年 藤巻 愛海（ふじまき あいか）
制作意図	地元にある「黄金富士」に木の苗を届ける様子を想像しました。
講 評	鮮やかな色使いで、丁寧に書かれているのがよく分かる作品。いろいろな動物がそれぞれ鉢苗を運んでいる、ユーモアがあって面白い構図。

■高等学校の部：最優秀賞「北海道森林組合連合会会長賞」

画 題	「緑を彩る」
作 者	北海道富良野緑峰高等学校1年 川村 凜花（かわむら りんか）
制作意図	人の手で緑を育ててほしいという気持ちで描きました。水やりをして育てている様子です。
講 評	感性豊かで、きれいに丁寧に書かれた作品であり、高校生らしく緻密で、完成度が高い。

注：「制作意図」は作者が記述して作品に添付したものです。

〈標 語〉

■最優秀賞「北海道知事賞」

作 品	「育てよう 優しい心と あふれる緑」
作 者	岩見沢市立上幌向中学校1年 杉本 恋実（すぎもと れみ）
講 評	緑を慈しむ「優しい心」を育もうという思いとともに、「あふれる緑」という言葉で、ポスター原画の「地球規模で森林を守る」という思いにも合致する作品。